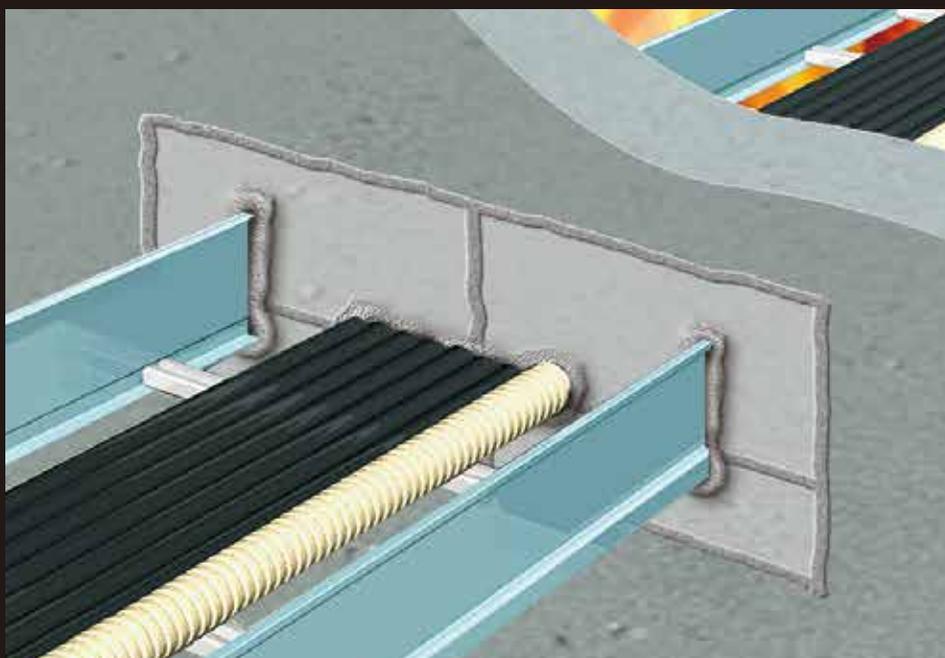


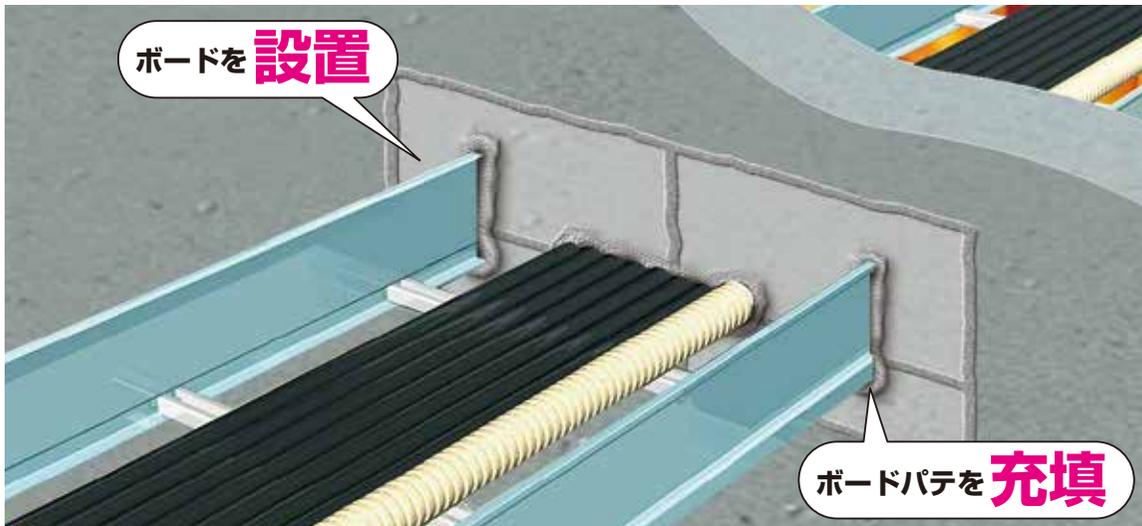
防火部材 タイカブラック®

# Rボード

認定 & 評定 一覧



# Rボード ケーブルラック貫通、矩形開口 ボードとパテのエコノミータイプ



- 1 簡単**
  - ボードを施工し、パテを充填するだけ。
  - ボードはカッターで切断加工ができます。ジグソー不要です。
  - 全ての施工を片側から行えます。
- 2 確実**
  - シンプル構造、簡単施工だから仕上がりにバラつきが少ないです。
  - ボード状なので、充填深さにバラつきがありません。
- 3 低価格**
  - ボードとパテだけのシンプル構成なので安価です。
- 4 安心**
  - 大部分が不燃材で構成されており、延焼を防ぎます。
- 5 便利**
  - 壁、床どちらでも使用できる充填材です。
  - 再施工、追加施工が可能です。
  - 軽量で持ち運びもラクラクです。



## ボード工法

国土交通大臣認定	貫通する壁・床の構造	ケーブル直 (導体断面積) (1本あたり)	PF管	バスダクト	最大開口部面積 (m <sup>2</sup> )	占積率 (%)	
PS060WL-0385	 100mm厚以上	250mm <sup>2</sup> 以下  (325mm <sup>2</sup> は、 標準施工図を 参考にしてく ださい。)	36 以下	-	0.6以下	18.3 以下	
PS060WL-0404	 100mm厚以上				0.6以下 (0.5以下×1.2以下)	18.8 以下	
	 100mm厚以上		0.41以下		15.1 以下		
PS060WL-0400	 42mm厚以上		-		-	0.6以下	18.2 以下
PS060FL-0375	 100mm厚以上		100mm <sup>2</sup> 以下		2400mm <sup>2</sup> 以下	18.8 以下	
PS060FL-0327 (銅製スリーブあり)		14.9 以下					
PS060FL-0364 (銅製スリーブあり)							

# Rボード施工例

**中空壁** Rボード外張り片側工法  
 PS060WL-0385

**床** Rボード充填工法  
 PS060FL-0375

**壁** Rボード充填工法  
 PS060WL-0404

**中空壁**

**床** Rボード充填工法 (鋼製スリーブあり)  
 PS060FL-0327

**片面壁** Rボード充填工法  
 PS060WL-0400

**床** バスダクト工法 (鋼製スリーブあり)  
 PS060FL-0364

## Rボード

壁 中空壁 片面壁 床 共通部材

受注品

ボード

40

200

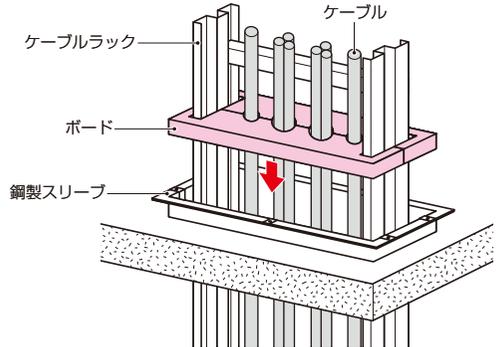
ボードパテ(1kg)

●ポリエチレン手袋入(2組)

認定シール1枚付



- ボードとパテのセット品です。
- ボードを施工し、パテを充填するだけの簡単施工



- PS060WL-0385の場合、開口寸法(タテ×ヨコ)+100mmのRボードが必要ですので、ワンサイズ上のRボードを2セットご利用ください。
- 床の場合、バックアップ材としてロックワールが別途必要です。
- ケーブル325mm<sup>φ</sup>を貫通する場合、ガラスクロス、ガラスクロス結束用鉄線が別途必要です。

※開口高さ200mmとした場合です。※2段ラックの場合は2組必要です。

開口面積 (㎡)	*開口幅 (mm)	品番	ボード (mm) : 幅(L) × 長さ × 入数	ボードパテ入数 (1kg)	入数	希望小売価格 (税抜)
~0.04	200	<b>MTKB-R004</b>	200×200(1枚)	1個	1	7,260
0.04~0.06	300	<b>MTKB-R006</b>	300×200(1枚)	1個	1	10,900
0.06~0.08	400	<b>MTKB-R008</b>	400×200(1枚)	2個	1	13,800
0.08~0.10	500	<b>MTKB-R010</b>	500×200(1枚)	2個	1	17,500
0.10~0.12	600	<b>MTKB-R012</b>	600×200(1枚)	2個	1	20,700
0.12~0.14	700	<b>MTKB-R014</b>	400×200(1枚)、300×200(1枚)	3個	1	24,200
0.14~0.16	800	<b>MTKB-R016</b>	400×200(2枚)	3個	1	27,400
0.16~0.18	900	<b>MTKB-R018</b>	500×200(1枚)、400×200(1枚)	3個	1	30,900
0.18~0.20	1000	<b>MTKB-R020</b>	500×200(2枚)	4個	1	33,900
0.20~0.22	1100	<b>MTKB-R022</b>	600×200(1枚)、500×200(1枚)	4個	1	37,400
0.22~0.24	1200	<b>MTKB-R024</b>	600×200(2枚)	4個	1	40,700

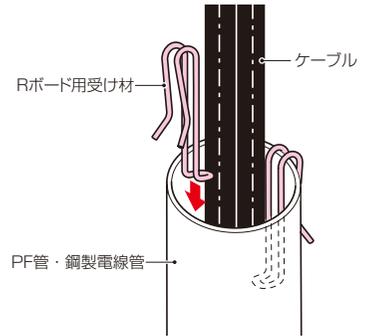
※この商品の価格は1セット価格です。

## Rボード用受け材

### 壁 中空壁 片面壁 床 補強部材



●電線管の端部に、ボードパテを充填する場合に使用します。



品番	適用	入数	希望小売価格(税抜)
MTKB-RU	鋼製電線管・PF管	10	200

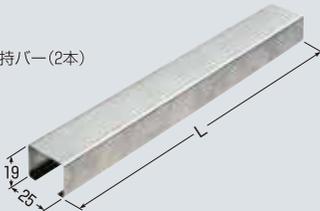
## Rボード用金具

### 床 補強部材

Z金具



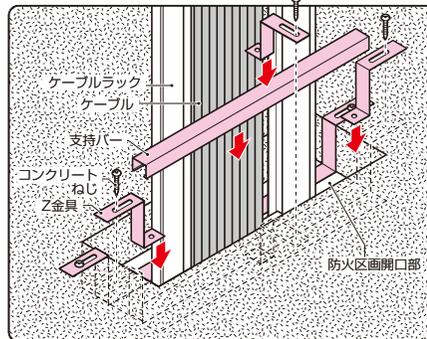
支持バー(2本)



●踏み抜き注意シール(100×60mm)……………1枚

●床施工の場合にRボードと組み合わせて使用します。

**充填材の支持が簡単!** 金具セットを床開口に設置!



支持バーの長さ調整で、  
 どんな開口寸法にも対応可能。

品番	適合開口幅(mm)	支持バーL(mm)	Z金具入数	入数	希望小売価格(税抜)
MTKB-RK004	200	195	6個	1	3,090
MTKB-RK006	300	295	6個	1	3,090
MTKB-RK008	400	395	8個	1	4,010
MTKB-RK010	500	495	8個	1	4,010
MTKB-RK012	600	595	8個	1	4,010
MTKB-RK014	700	695	10個	1	4,910
MTKB-RK016	800	795	10個	1	4,910
MTKB-RK018	900	895	10個	1	4,910
MTKB-RK020	1000	995	12個	1	5,830
MTKB-RK022	1100	1095	12個	1	5,830
MTKB-RK024	1200	1195	12個	1	5,830

※この商品の価格は1セット価格です。

## 踏み抜き注意シール



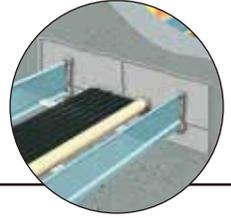
10枚入

●大開口の床区画貫通部を誤って踏みつけないよう注意喚起するための大きめのシールです。

品番	サイズ	入数	希望小売価格(税抜)
MTKB-FCS	210×148mm	10	オープン価格

# 技術資料

## Rボード ボード工法

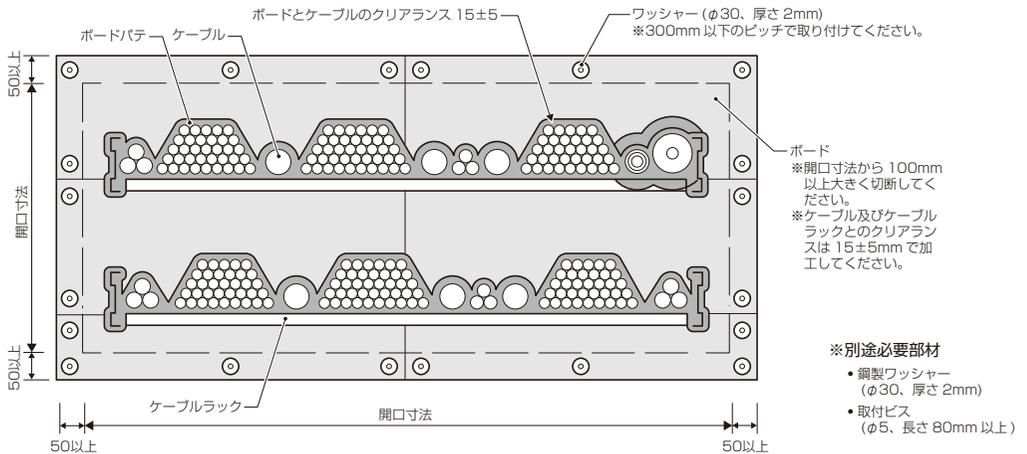


### 認定条件(抜粋) ●国土交通大臣認定(ケーブル・電線管)

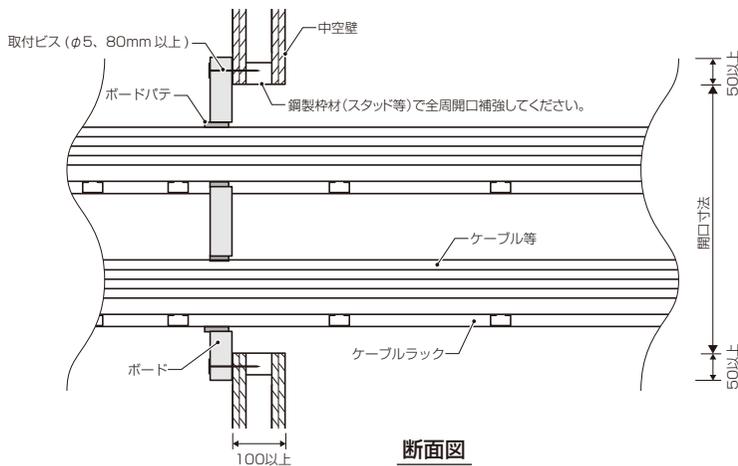
構造		中空壁(PS060WL-0385)
開口部	形状	矩形
	面積	0.6m <sup>2</sup> 以下
占積率		18.3%以下
貫通する壁の構造等		①準耐火構造(60分)の壁 ・厚さ100mm以上(両面強化せっこうボード重張軽量鉄骨下地) ②耐火構造(60分)の壁 ・厚さ100mm以上 ※PF管の場合、鋼製による開口補強材を設けること。
ケーブル(電線)		・ 導体断面積：325mm <sup>2</sup> 以下(1本あたり)
電線管		・ 合成樹脂製可とう電線管(JIS C 8411;PF管) 外径：φ45.5mm以下
スリーブ		・ 鋼製スリーブ (JIS C 8305) 外径：φ76.2mm以下、長さ340mm
ケーブルラック		・ 鋼製 ・ 幅：200mm～1100mm ・ 厚さ1.6mm以上

### 標準施工図(抜粋) (寸法単位：mm)

#### ○中空壁

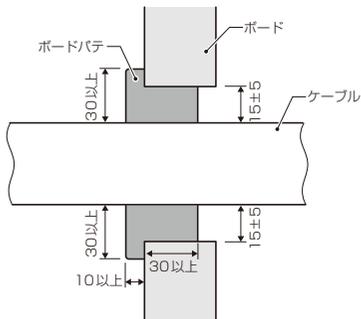


立面図

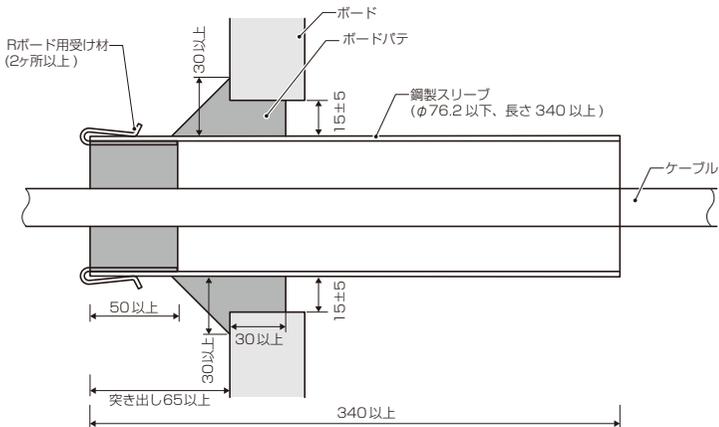


**標準施工図(抜粋)** (寸法単位：mm)

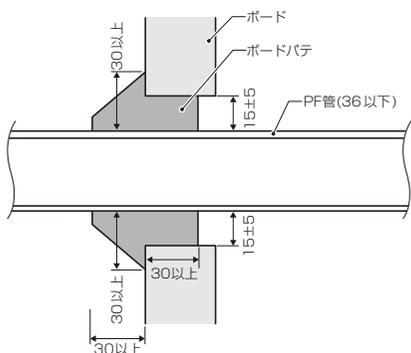
●250mm<sup>2</sup>以下の  
ケーブル貫通部詳細



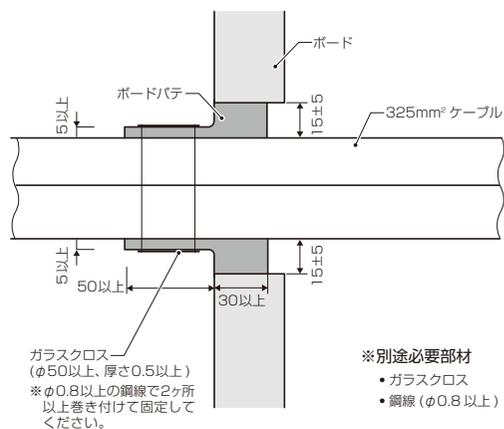
●鋼製スリーブ貫通部詳細



●PF管貫通部詳細

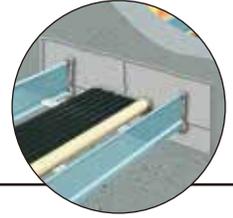


●325mm<sup>2</sup>のケーブル貫通部詳細



# 技術資料

## Rボード ボード工法

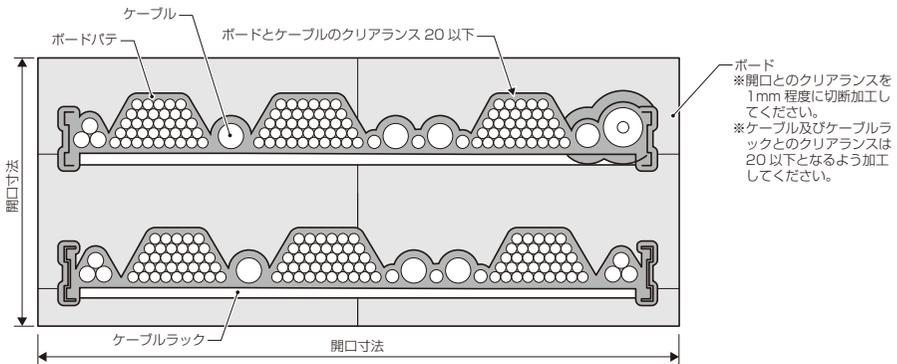


### 認定条件(抜粋) ●国土交通大臣認定(ケーブル・電線管)

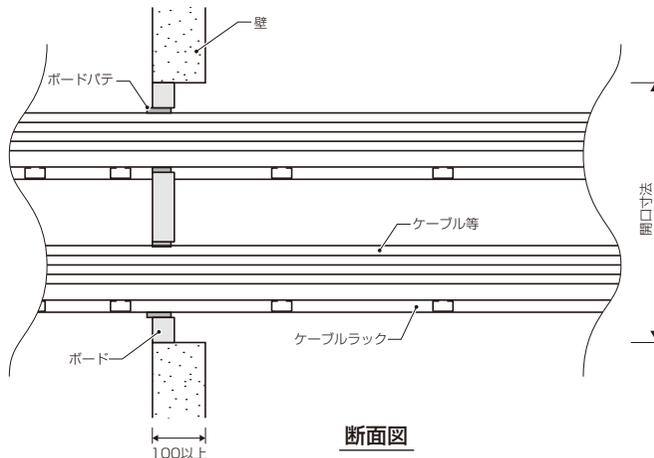
構造		壁・中空壁(PS060WL-0404)
開口部	形状	矩形
	面積	0.6m <sup>2</sup> 以下(0.5m以下×1.2m以下)
占積率		18.8%以下
貫通する壁の構造等		①準耐火構造(60分)の壁 ・厚さ100mm以上 ②耐火構造(60分)の壁 ・厚さ100mm以上(板厚12.5mm以上重張) ③ALCパネル ・厚さ100mm以上 ④鉄筋コンクリート造 ・厚さ100mm以上
ケーブル(電線)		・導体断面積：325mm <sup>2</sup> 以下(1本あたり) ・総導体断面積：15189mm <sup>2</sup> 以下
スリーブ		・鋼製スリーブ (JIS C 8305) 外径：φ76.2mm以下、長さ340mm以上(1本)
ケーブルラック		・鋼製 ・幅：1200mm以下 ・厚さ1.6mm以上

### 標準施工図(抜粋) (寸法単位：mm)

#### ○壁(ALCパネル又はコンクリート)



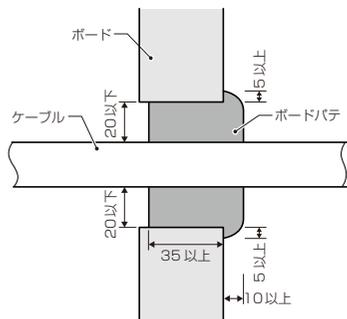
立面図



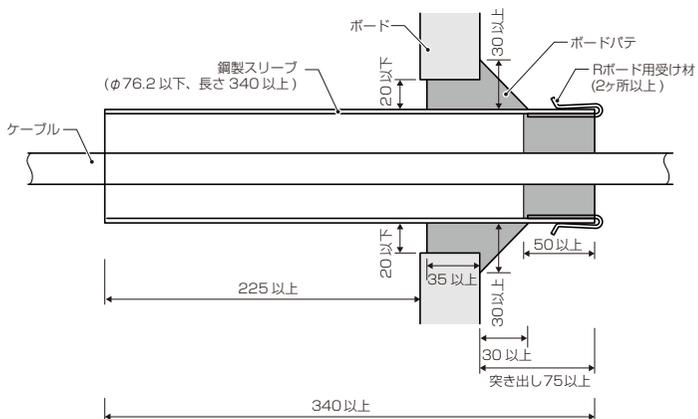
断面図

**標準施工図(抜粋)** (寸法単位：mm)

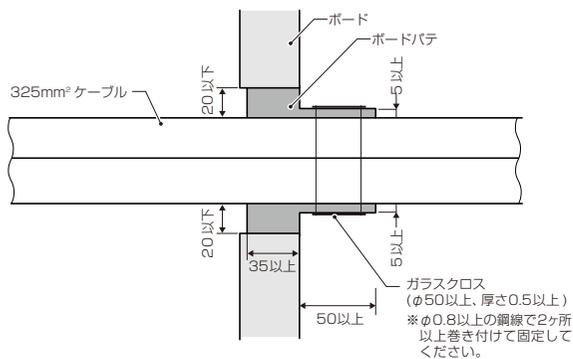
●ケーブル貫通部詳細



●鋼製スリーブ貫通部詳細



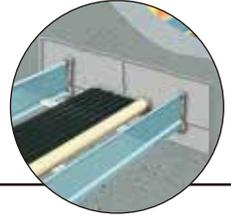
●325mm<sup>2</sup>のケーブル貫通部詳細



- ※別途必要部材
- ガラスクロス
  - 鋼線 (φ0.8以上)

# 技術資料

## Rボード ボード工法

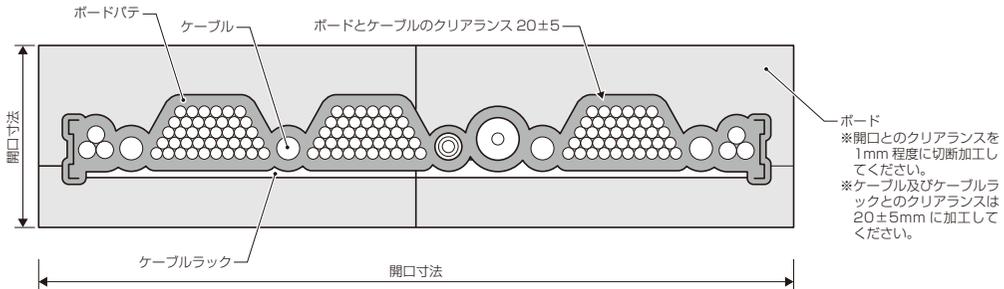


### 認定条件(抜粋) ●国土交通大臣認定(ケーブル・電線管)

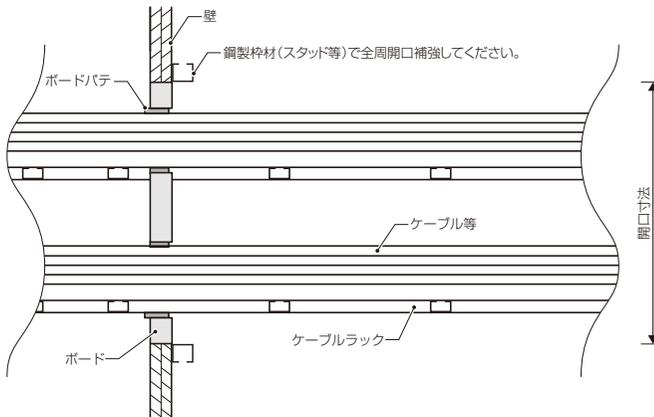
構造		片面壁(PS060WL-0400)
開口部	形状	矩形
	面積	0.41m <sup>2</sup> 以下
占積率		15.1%以下
貫通する壁の構造等		○片面強化せつこうボード重張/軽量鉄鋼下地間仕切壁 ・厚さ42mm以上
ケーブル(電線)		・ 導体断面積：325mm <sup>2</sup> 以下(1本あたり)
スリーブ		・ 合成樹脂製可とう電線管(JIS C 8411;PF管) 外径：φ45.5mm以下 ・ 長さ340mm以上 ・ 鋼製スリーブ (JIS C 8305) 外径：φ76.2mm以下、長さ340mm以上
ケーブルラック		・ 鋼製 ・ 幅：200~1200mm以下 ・ 厚さ1.6mm以上

### 標準施工図(抜粋) (寸法単位：mm)

#### ○片面壁



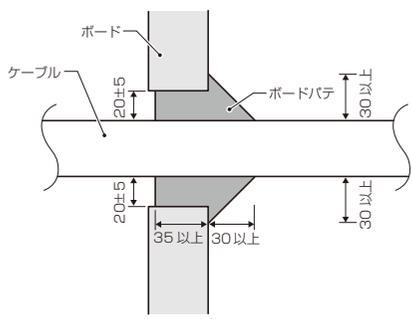
立面図



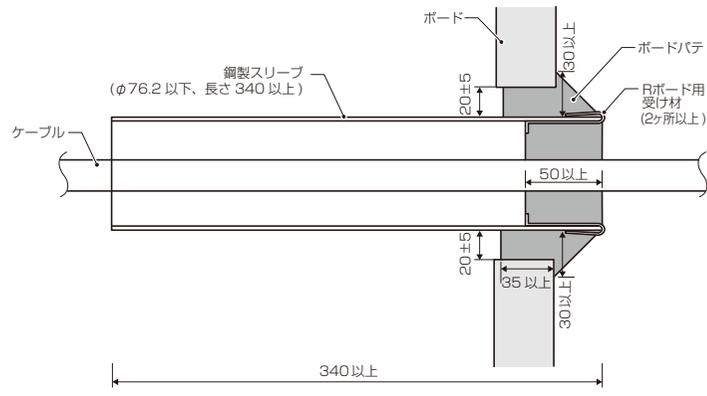
断面図

**標準施工図(抜粋)** (寸法単位：mm)

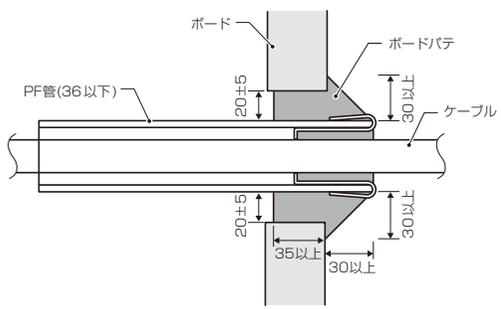
●ケーブル貫通部詳細



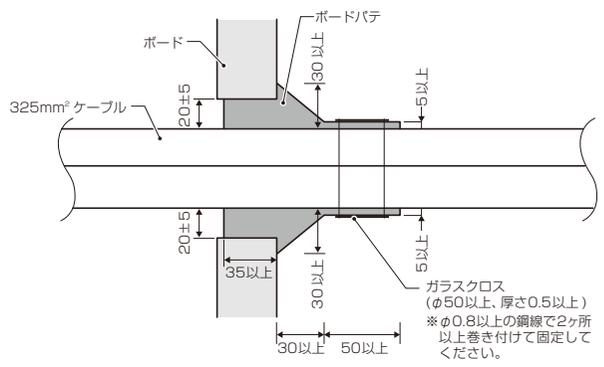
●鋼製スリーブ貫通部詳細



●PF管貫通部詳細



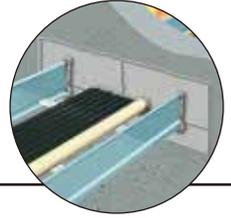
●325mm<sup>2</sup>のケーブル貫通部詳細



- ※別途必要部材
- ガラスクロス
  - 鋼線 (φ0.8以上)

# 技術資料

## Rボード ボード工法

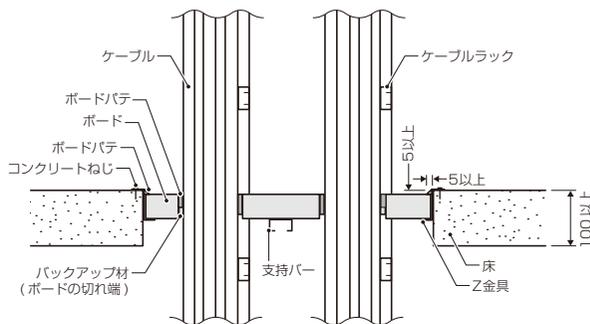
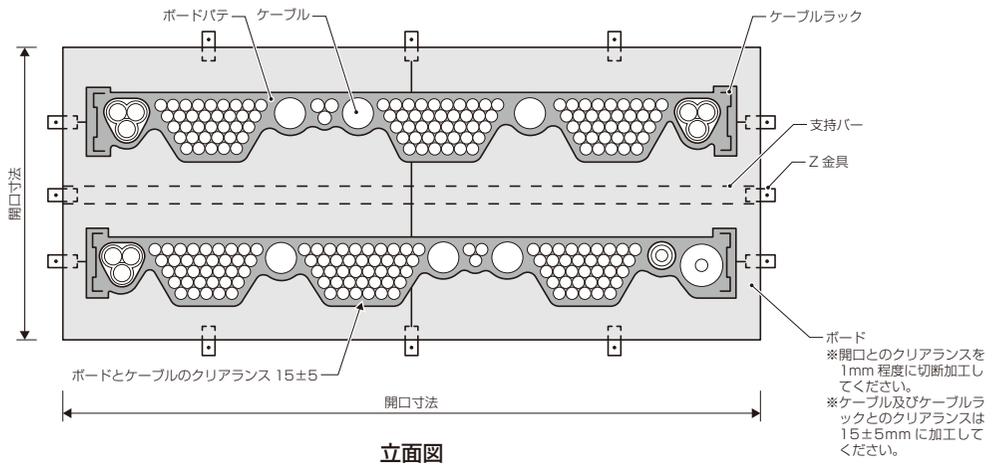


### 認定条件(抜粋) ●国土交通大臣認定(ケーブル・電線管)

構造		床(PS060FL-0375)
開口部	形状	矩形
	面積	0.6m <sup>2</sup> 以下
占積率		18.2%以下
貫通する床の構造等		○鉄筋コンクリート造 ・厚さ100mm以上(中空床を除く)
ケーブル(電線)		・ 導体断面積：325mm <sup>2</sup> 以下(1本あたり)
スリーブ		・ 合成樹脂製可とう電線管(JIS C 8411;PF管) 外径：φ36.5mm以下、長さ315mm以上 (突き出し寸法：55mm以上) ・ 鋼製スリーブ (JIS C 8305) 外径：φ76.2mm以下、長さ290mm以上 (突き出し寸法：30mm以上)
ケーブルラック		・ 鋼製 ・ 幅：200~1100mm ・ 厚さ1.6mm以上

### 標準施工図(抜粋) (寸法単位：mm)

#### ○床(鉄筋コンクリート)

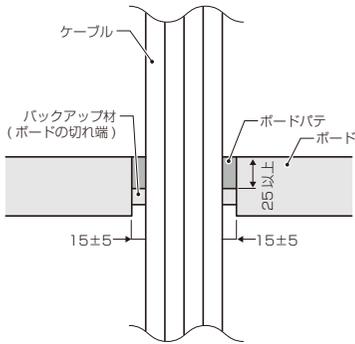


## 標準施工図(抜粋)

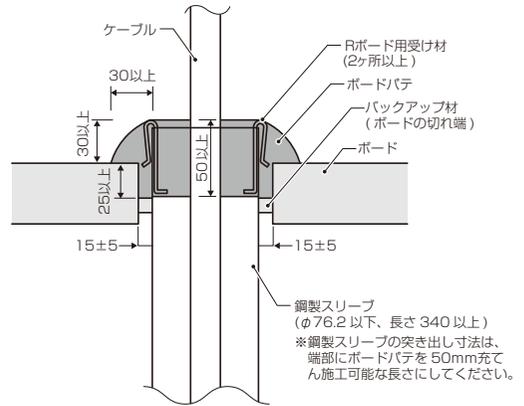
(寸法単位：mm)

### ○床(鉄筋コンクリート)

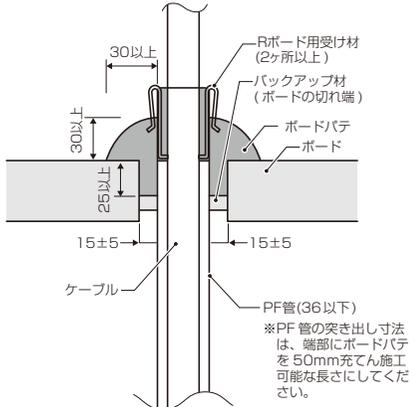
#### ●ケーブル貫通部詳細



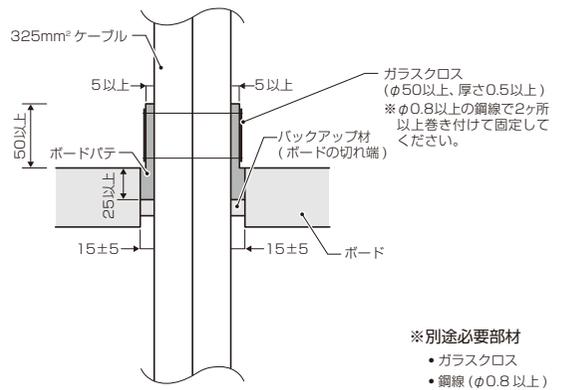
#### ●鋼製スリーブ貫通部詳細



#### ●PF管スリーブ貫通部詳細

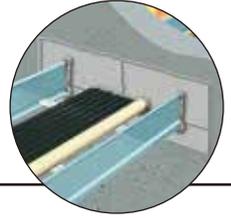


#### ●325mm<sup>2</sup>のケーブル貫通部詳細



# 技術資料

## Rボード ボード工法

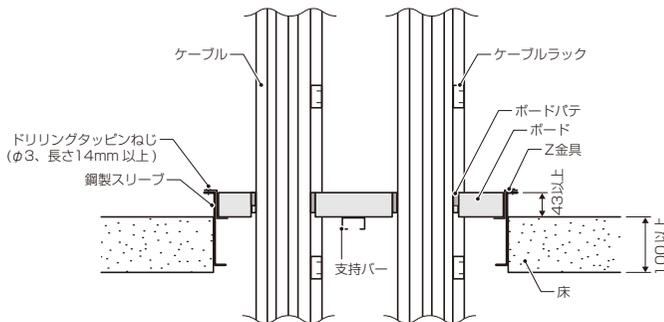
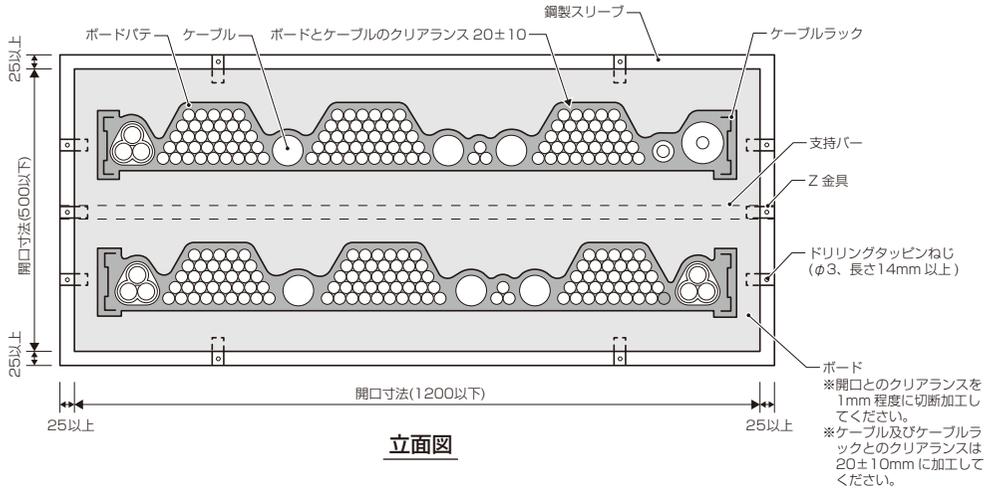


### 認定条件(抜粋) ●国土交通大臣認定(ケーブル・電線管)

構造		床(PS060FL-0327)
開口部	形状	矩形
	面積	0.6m <sup>2</sup> 以下
占積率		18.8%以下
貫通する床の構造等		○鉄筋コンクリート造 ・厚さ100mm以上
ケーブル(電線)		・ 導体断面積：325mm <sup>2</sup> 以下(1本あたり)
スリーブ		・ 合成樹脂製可とう電線管(JIS C 8411:PF管) 外径：φ36.5mm以下、長さ290mm以上 ・ 鋼製スリーブ (JIS C 8305) 外径：φ76.2mm以下、長さ340mm以上
ケーブルラック		・ 鋼製 ・ 幅：200~1100mm ・ 厚さ1.6mm以上
鋼製スリーブ		・ 鋼製スリーブ ・ 幅1200mm×長さ500mm以下 ・ 厚さ1.6mm以上

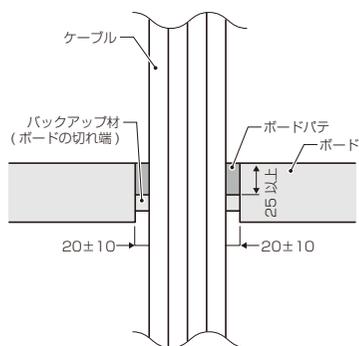
### 標準施工図(抜粋) (寸法単位：mm)

#### ○床(鉄筋コンクリート)

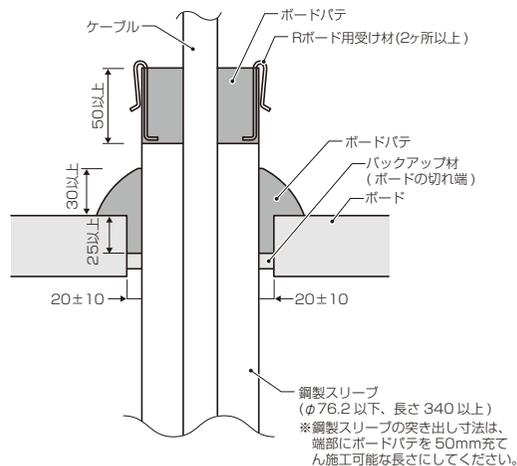


**標準施工図(抜粋)** (寸法単位：mm)

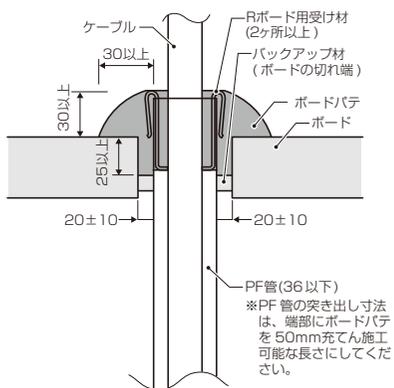
●ケーブル貫通部詳細



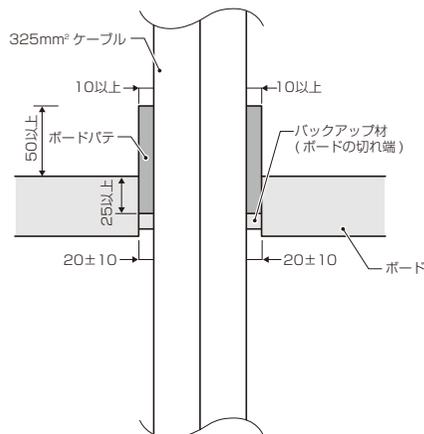
●鋼製スリーブ貫通部詳細



●PF管スリーブ貫通部詳細

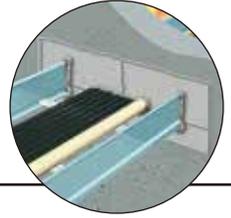


●325mm<sup>2</sup>のケーブル貫通部詳細



# 技術資料

## Rボード ボード工法

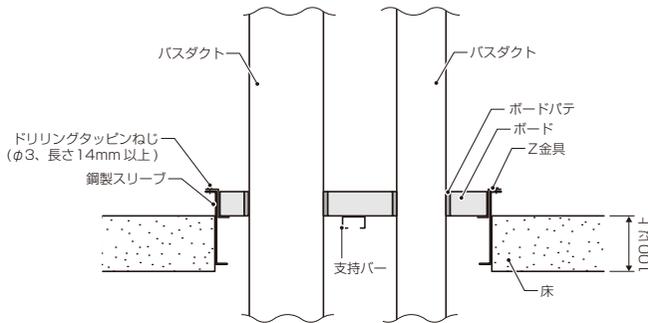
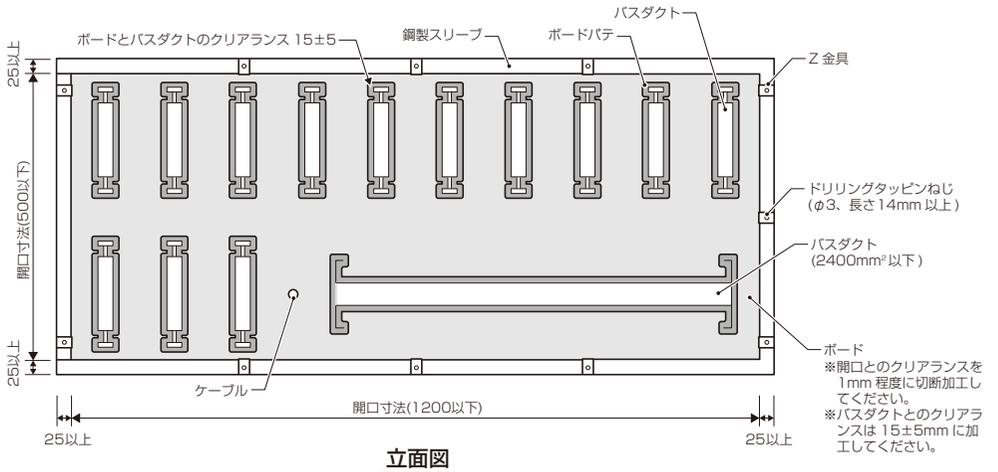


### 認定条件(抜粋) ●国土交通大臣認定(バスダクト)

構造		床(PS060FL-0364)
開口部	形状	矩形
	面積	0.6m <sup>2</sup> 以下
占積率		14.9%以下
貫通する床の構造等		○鉄筋コンクリート造 ・厚さ100mm以上
ケーブル(電線)		・ 導体断面積：100mm <sup>2</sup> 以下
鋼製スリーブ		・ 鋼製スリーブ ・ 幅1200mm×長さ500mm以下 ・ 厚さ1.6mm以上
バスダクト		・ 導体断面積：2400mm <sup>2</sup> 以下

### 標準施工図(抜粋) (寸法単位：mm)

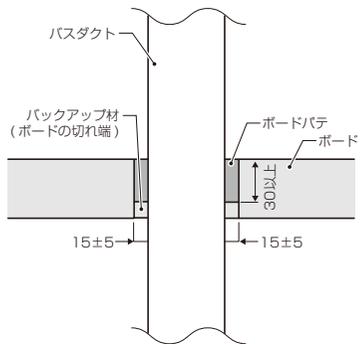
#### ○床(鉄筋コンクリート)



## 標準施工図(抜粋)

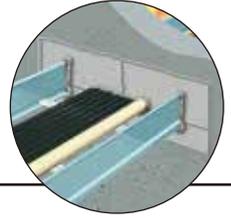
(寸法単位：mm)

### ●バスダクト貫通部詳細



# 施工要領

## Rボード ボード工法



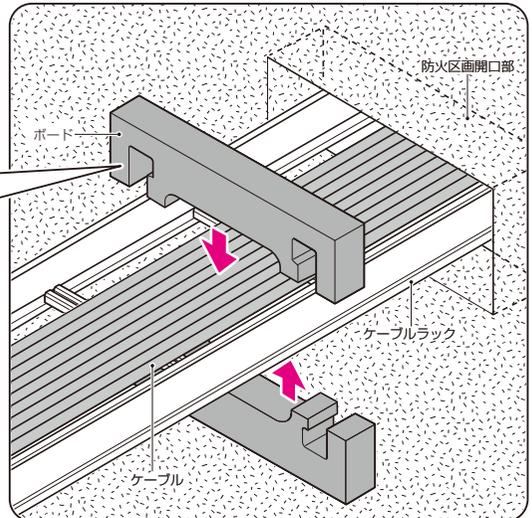
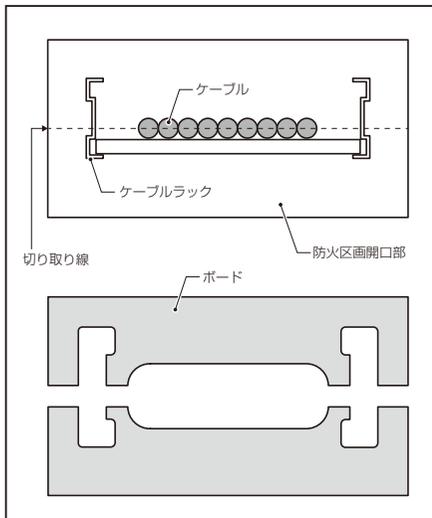
### 施工要領：壁の場合

○準備 ●壁の開口部にケーブルラック、ケーブル、配管を施工します。

・ケーブル、配管を施工するにあたり、できるだけ平らになる様に並べていく方がボードの加工がし易く、キレイに施工できます。

①ボードをケーブルラック、ケーブル等に合わせてカットする。

- ・ボードがケーブル等の中心で分断されるよう、カッター等で切断します。
- ・ケーブルラック、ケーブル等の形状に合わせ、ボードをカッター等でカットします。  
※カットはできるかぎり正確に行ってください。



中空壁：開口補強(全周)

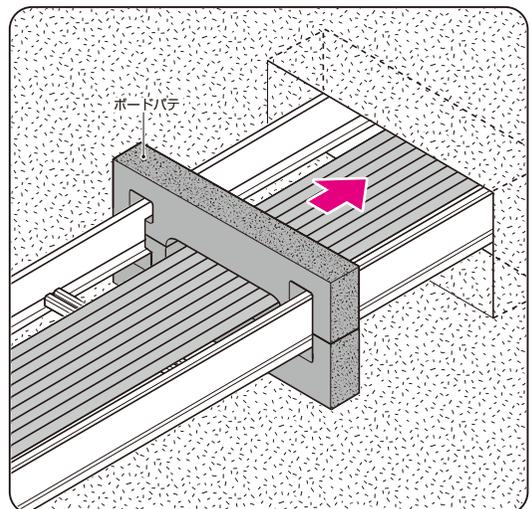


#### ■PS060WL-0385の場合

- ・開口寸法タテ・ヨコ+100mmのRボードが必要です。
- ・ボード固定用の鋼製ワッシャー、取付ビスが別途必要です。

②ボードを合わせて開口部に入れる。

- ・壁とボードの接地面にボードパテを薄く塗布する。
- ・2枚のボードを合わせ、開口部に入れる。



国土交通大臣認定書 の仕様に基づき、正しく施工してください。  
(注)製品のご使用は、所轄行政機関にご確認ください。

## 施工要領：壁の場合

③ケーブルラック、ケーブル等の周りにボードパテを充填する。

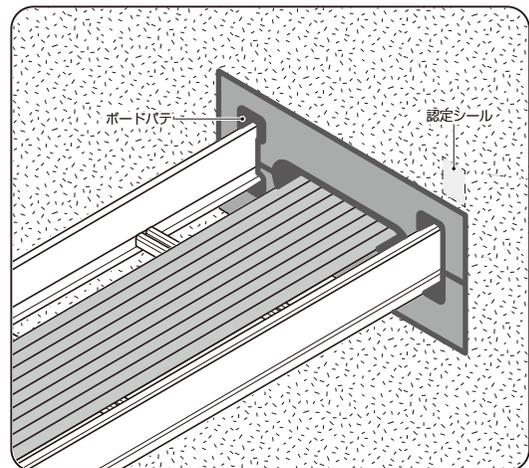
- 隙間ない様に密に充填します。(詳細は認定書参照)

④認定シールを施工箇所にご貼ってください。

- 認定シールは、目視できる位置にご貼ってください。

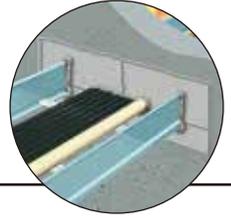
〈ご注意〉

この取扱説明書とは異なる施工、変則的な施工をやむをえず実施する場合、又、ご不明な点がある場合は当社営業管理課にお問い合わせください。



# 施工要領

## Rボード ボード工法



### 施工要領：床の場合

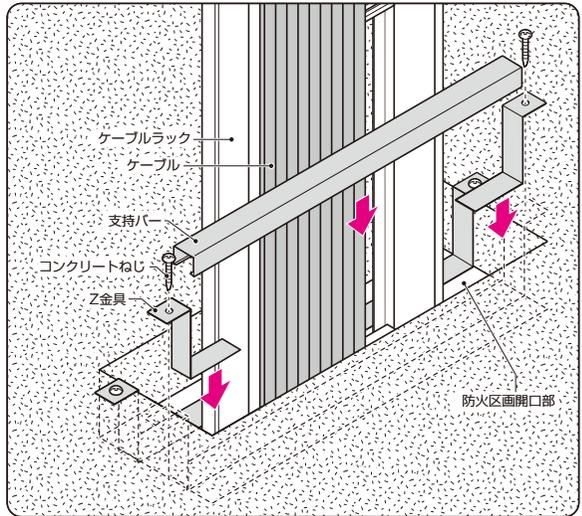
○準備 ●床の開開口部にケーブルラック、ケーブル、配管を施工します。

•ケーブル、配管を施工するにあたり、できるだけ平らになる様に並べていく方がボードの加工がし易く、キレイに施工できます。

①開口部にZ金具、支持バーを取り付けます。

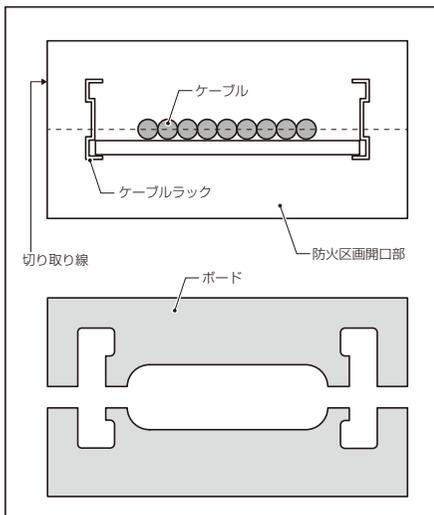
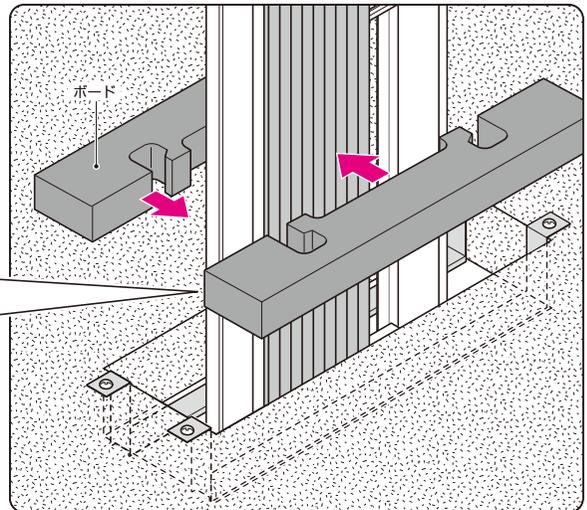
- Z金具を躯体にコンクリートねじにて固定する。
- 支持バーをZ金具にのせます。

•Z支持金具は躯体にアンカーで固定することもできます。



②ボードをケーブルラック、ケーブル等に合わせ  
せてカットする。

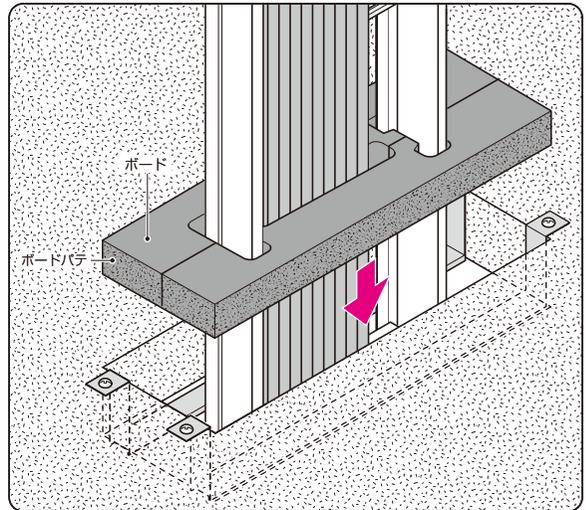
- ボードがケーブル等の中心で分断されるよう、カッター等で切断します。
- ケーブルラック、ケーブル等の形状に合わせ、ボードをカッター等でカットします。  
※カットはできるかぎり正確に行ってください。



## 施工要領：床の場合

### ③ ボードを合わせて開口部に入れる。

- 壁とボードの接地面にボードパテを薄く塗布する。
- 2枚のボードを合わせ、開口部に入れる。



### ④ ケーブルラック、ケーブル等の周りにボードパテを充填する。

- 隙間ない様に密に充填します。  
(詳細は認定書参照)

### ⑤ ボードに金具セット同梱の踏み抜き注意シールを貼ってください。

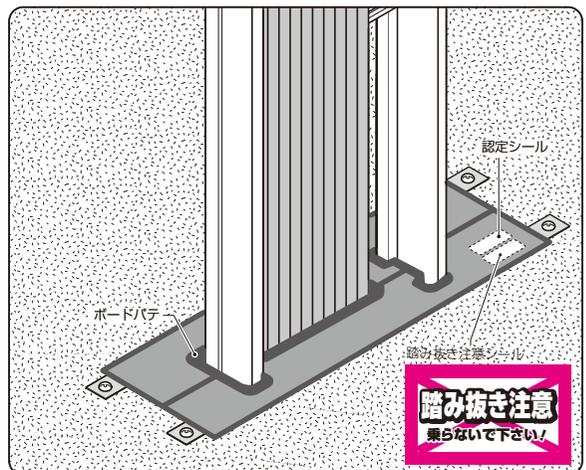
- シールを貼る前に、Z金具の固定が確実であるか、ボードパテの充填もれがないか等、施工の確認を行ってください。  
※不具合がある場合は、手直しを行ってください。

### ⑥ 認定シールを施工箇所に貼ってください。

- 認定シールは、目視できる位置に貼ってください。

#### 〈ご注意〉

この取扱説明書とは異なる施工、変則的な施工をやむをえず実施する場合、又、ご不明な点がある場合は当社営業管理課にお問い合わせください。

















# 防火部材

## 防火部材 タイカブラック Rボード



※このカタログは、2023年5月現在のものです。このカタログは専門業者様向け、当社との業者間取引用です。(当カタログからの無断転載はかたくお断りします。)  
※カタログに掲載しております標準価格は、当社が希望する小売価格です。尚、掲載しております商品の価格には消費税は含まれておりません。ご購入の際には消費税が附加されます。

※沖縄及び離島価格は、別途お問い合わせください。

パ MTKB-R(2)

JIS認証取得



# 未来工業株式会社

本社：岐阜県安八郡輪之内町榎保1695-1 〒503-0201 TEL(0584)68-0001(代) FAX(0584)69-3900

支店：仙台：TEL(022)367-8250(代) FAX(0584)83-0235 新潟：TEL(025)269-0269(代) FAX(0584)83-0885

東京：TEL(03)3527-3942(代) FAX(0584)83-0645 名古屋：TEL(052)957-2733(代) FAX(0584)83-0650

大阪：TEL(06)6765-4810(代) FAX(0584)83-0654 中国：TEL(087)882-2040(代) FAX(0584)83-0659

福岡：TEL(092)937-2215(代) FAX(0584)83-0326

営業所：札幌：TEL(011)663-3233(代) FAX(0584)83-0233 旭川：TEL(0166)21-8848(代) FAX(0584)83-0234

盛岡：TEL(019)637-7097(代) FAX(0584)83-0231 仙台：TEL(022)367-8250(代) FAX(0584)83-0235

郡山：TEL(024)991-8898(代) FAX(0584)83-0232 新潟：TEL(025)269-0269(代) FAX(0584)83-0885

松本：TEL(0263)97-3141(代) FAX(0584)83-0517 北陸：TEL(076)292-3611(代) FAX(0584)83-0830

水戸：TEL(0295)52-2155(代) FAX(0584)83-0643 さいたま：TEL(048)652-9221(代) FAX(0584)83-0644

東京：TEL(03)3527-3942(代) FAX(0584)83-0645 千葉：TEL(043)227-1605(代) FAX(0584)83-0646

横浜：TEL(045)313-6591(代) FAX(0584)83-0647 静岡：TEL(054)236-1505(代) FAX(0584)83-0648

名古屋：TEL(052)957-2733(代) FAX(0584)83-0650 大垣：TEL(0584)68-0002(代) FAX(0584)83-0652

大阪：TEL(06)6765-4810(代) FAX(0584)83-0654 神戸：TEL(078)574-0488(代) FAX(0584)83-0656

岡山：TEL(087)882-2040(代) FAX(0584)83-0659 松山：TEL(089)921-2905(代) FAX(0584)83-0663

広島：TEL(082)545-9260(代) FAX(0584)83-0664 福岡：TEL(092)937-2215(代) FAX(0584)83-0326

大分：TEL(097)589-8570(代) FAX(0584)83-0325 長崎：TEL(0957)43-0575(代) FAX(0584)83-0327

熊本：TEL(0968)38-6622(代) FAX(0584)83-0328 鹿児島：TEL(099)250-6311(代) FAX(0584)83-0324

沖縄：TEL(098)894-6481(代) FAX(0584)83-0323

工場：山形、茨城第1、茨城第2、茨城第3、大垣、垂井、熊本第1、熊本第2

ホームページ <https://www.mirai.co.jp/> Eメール [mirai@mirai.co.jp](mailto:mirai@mirai.co.jp)